

あなたとぎかい

かとり市議会だより
あなたとぎかい



—— CONTENTS ——

今月の特集
高校生 to 議会 vol.1『佐原高等学校』
……………P2～P3

こんなことが決まりました／採決結果
……………P4～P5

ココがききたいQ&A……………P6～P15

活動レポート／表彰／9月定例会日程
……………P16

ヨーロッパをテーマとした演劇「ロミオとジュリエット」を熱演した佐原高等学校3年C組の皆さん(星輝祭)

2017.8.1 No. 46

発行/香取市議会
編集/議会広報特別委員会
〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127
☎0478-50-1217 E-mail gikai@city.katori.lg.jp

市議会をより詳しく知りたい時は 市議会会議録と議会中継をご利用ください!

議会だよりは、要約表記で掲載しているため、詳しくは市議会ホームページや会議録をご覧ください。



会議録

会議録は、市議会ホームページ「会議録検索」から閲覧できるほか、製本された会議録は次の場所で閲覧できます。

- 市役所1階の情報コーナー
- 市役所6階の議会事務局
- 佐原中央図書館
- 小見川図書館

6月定例会の
会議録が
ご覧いただけるのは
8月中旬に
なります。



議会中継

定例会・臨時会のライブ中継は、市議会ホームページ及び市役所で視聴できます。録画映像は、おおむね1週間後、市議会ホームページから視聴できます。

6月定例会の
ライブ中継
視聴件数

延べ **1,142** 件

香取市議会ホームページ閲覧方法▶ 香取市議会で検索、もしくは香取市のホームページから市議会のページを選択
香取市ホームページ <http://www.city.katori.lg.jp/> 香取市議会ホームページ <http://www.city.katori.lg.jp/gikai/>

市議会議員の活動レポート

平成29年7月2日(日)
「議員クルー香取市民レガッタで一漕入魂」

黒部川特設コースで「第12回香取市民レガッタ」が開催されました。熟年男子の部に出場した議員クルーは、惜しくも予選敗退となりましたが、水上スポーツ推進に役買いたいと力を合わせ漕ぎ進めました。9月23日(祝・土)・24日(日)には秋田県で開催される全国交流レガッタに参加予定です。

予選突破に向け、力漕する議員クルー



編集後記 vol.46

リニューアルして2回目の議会だよりは、いかがでしょうか?ぜひ感想などお聞かせください。今回は、委員自ら特集記事において、相手先へ出向き現地取材に挑戦しました。私たちの目標は、市民に伝えたいことをわかりやすく掲載すること、並びにいま何を優先して取り上げていくべきか、であると思います。そして常に議会には説明責任と透明性が問われる昨今でもあり、今後ひたむきに紙面づくりに挑戦し続けていきたいです。
議会広報特別委員会(友)

功績をたたえ議員表彰

平成29年5月24日(水)、全国市議会議長会 第93回定期総会で、永年在職議員表彰が行われました。

その表彰において、木内誠議員・宇井正一議員が議員在職25年以上、高木寛議員・高木典六議員・鈴木聖二議員が議員在職10年以上により、地方自治と市政の発展に貢献された功績により表彰されました。

表彰状等は、6月6日(火)に議場において、眞本議長より伝達されました。



左から鈴木 聖二議員、高木 寛議員、宇井 正一議員、木内 誠議員、高木 典六議員

9月 市議会を傍聴しませんか?

定例会の日程

8/29日(火)	31日(木)	本会議
9/6日(水)	7日(木)	本会議
	8日(金)	(一般質問調整日)
11日(月)	12日(火)	決算審査
	13日(水)	特別委員会
14日(木)	15日(金)	常任委員会
21日(木)		本会議

※上記は予定であり、変更となる場合があります。
※諸願・陳情の9月定例会での受け付けは、8月18日(金)午後4時までとなります。

- Q1 将来も香取市に住みたい? Q2 選挙権が18歳に引き下げられて思うことは?
Q3 議員の顔や名前はわかる? Q4 市議会議員のイメージは? Q5 もし議員になったら?

第1回 佐原高等学校



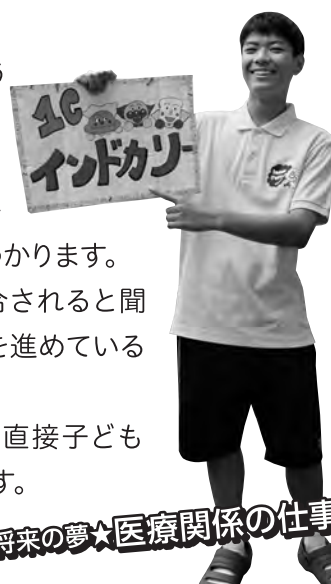
A1 住みたいです。今お祭りをやっていますが、これからも続けていきたいので。
A2 政治はまだ詳しくないので不安はありますが、18歳になったらぜひ投票してみたいです。
A3 あまりわかりません。
A4 偉い人。かたいイメージ。
A5 身近な道路の補修をはじめ、子どもたちにとって安全で住みやすいまちにしていきたいです。



はまづみ まほ
濱住舞帆さん(2年/佐原イ)

将来の夢★保育士

A1 できるだけ住みたい。
A2 大人への一歩という意味でも引き下げられ、よかったです。
A3 卒業式の来賓や選挙看板などで、地元の議員はわかります。
A4 地元の小学校が統合されると聞いていますので、公共事業を進めているイメージがあります。
A5 小学校などに出向き直接子どもたちから意見を聞きたいです。



みやざき りくや
宮崎陸矢さん(1年/田部)

将来の夢★医療関係の仕事

A1 豊かな自然が残る香取市に、これからも住んでいきたいです。
A2 まだ1年のため深くは考えていませんが、投票にはいきたいです。
A3 わかりません。
A4 近寄りがたいイメージです。
A5 駅周辺をはじめ、地域の活性化を図りたいです。



たけだ かほ
武田佳穂さん(1年/大戸)

将来の夢★動物に関わる仕事

A1 進路の関係で出たいです。
A2 若い時から選挙に関わることで、政治に興味を持てます。若者の意見を政治に反映させたいです。
A3 わからない。
A4 スーツ。活動しているイメージがわからない。
A5 校舎の修繕をはじめ、進学・部活動など子どもたちがのびのび学べる教育をサポートしたいです。



まつもと なおや
松本直弥さん(3年/佐原イ)

将来の夢★正学関連の仕事

A1 進学のため市外に出ると思いますが、地元のお祭りをやっていますので、戻りたいです。
A2 選挙が身近に感じられるようになり、投票には行きたい。でも政策がわかりづらいです。
A3 国会議員はわかりますが、市議はわかりません。
A4 あまり良いイメージは…。
A5 高校等の無償化。街路灯設置等で安全なまちづくりをしたいです。



とみざわ かいゆう
富澤海裕さん(3年/佐原イ)
いとかわ なお
糸川菜央さん(3年/佐原イ)

将来の夢★家業を継ぐ

A1 演劇関係の仕事に就きたいので県外に住みたいです。
A2 意見が言える責任を感じます。
A3 **A4** わかりません。
A5 教育関係にお金を使いたいです。



あさの かなこ
浅野華菜子さん(1年/川上)

将来の夢★演劇の裏方や演出

A1 将来は教員として香取市に戻ってきたいです。
A2 選挙権が18歳に引き下げられ、これからは自分たちの世代が日本を背負うので、若い人の意見が反映されていいと思います。
A3 選挙の際にポスターなどで目にしているのでも議員の顔や名前はわかりますが、この人がどのような政策を掲げているかまではわかりません。
A4 市議会議員は身近な議員です。中学生の時に模擬議会議を体験しましたので、苦労はわかります。
A5 将来もし議員になったら、教育の分野に興味があるため、子どもたちの教育にお金の使い方を傾けていきたいです。

生徒会長 かとり よしのり
香取慶則さん(3年/香取)

将来の夢★教員

学校生活について

佐原高校では、生徒ひとりひとりが常に意識を高く持ち、切磋琢磨して勉強や行事に取り組んでいます。生徒会長は、人前に出話す機会が多いので、スキルも上がりますし、友人・仲間も増えました。部活との両立は大変ですが、スケジュールを立てて物事を進めていくことなど、今後の役に立つ経験となりました。

2017星輝祭テーマは「ワールドツアーへようこそ！」

星輝祭は今年で60回目を迎えた伝統ある行事です。節目にあたり、今まで以上に一体感のある星輝祭を作ろうと考え、学校を世界にみだてて、クラスごとに、さまざまな国や時代を担当しました。



高校生の本音時間

Q & A

市内にある高校4校をシリーズでご紹介。高校生の本音に迫ります。第1弾は、6月30日・7月1日に開催された星輝祭(文化祭)で賑わう県立佐原高等学校を訪ね、生徒の皆さんからお話を伺いました。

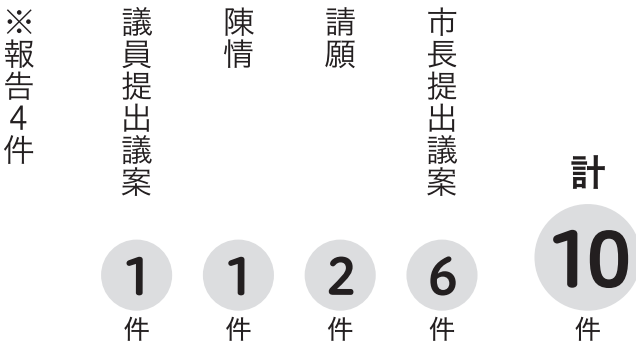
高校生 to 市議会



こんなことが決まりました！

平成29年6月定例会を6月6日から23日までの18日間にわたり開催しました。平成29年度一般会計補正予算をはじめ、工事請負契約締結、条例の一部改正などを審議しました。審議結果をピックアップしてご紹介します。

■審議された議案



○請願第12号
香取市残土条例を改正し、再生土による埋め立て事業の届け出・許可制を求める請願
○発議案第1号
再生土埋立て事業に対する規制強化に関する意見書について

PICKUP ③ 再生土埋立て事業に対する規制強化を市へ求めました

要旨 市民の安全で安心な生活を守り、リサイクルの適正な推進を図るため、再生土による埋立て造成行為について、残土条例の改正、建設汚泥再生利用製品の認定制度の創設など、厳格に対応可能とするための方策を早急に講じるよう県に働きかけすること、併せて、県から明確な方針が示されない場合は、早急に香取市残土条例を改正し、再生土も含め、すべての案件について対応可能となるよう面積要件を撤廃することを求めます。

議員別の採決結果一覧

○：賛成 ×：反対

※議長(眞本丈夫議員)は、採決に加わりません。 ※議案番号右の()は、審査を付託した委員会名です。 ※採決で賛否が分かれた議案のみ掲載しています。

議案名等 ▼	審議結果	木内誠	宇井正一	根本 太左衛門	平松大建明	河野節子	林 幸安	坂本洋子	伊藤友則	坂部勝義	伊能敏雄	眞本丈夫	高岡正剛	田山一夫	林 信行	久保木宗一	高木寛	高木典六	鈴木聖二	田代一男	平野和伯	小野勝正	久保木清司
議案第1号(総務企画) 平成29年度香取市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	×	○	×	×	○	×	○	○	○	—	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○
請願第11号(総務企画) 中小業者の自家労賃を必要経費として認める事を求める請願	不採択	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	—	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×

PICKUP ① バスターミナルの整備を検討します

地方創生推進交付金事業によるバスターミナルの整備検討に向け、基本設計等の経費を計上するものです。

Q どのような事業計画で、整備箇所はどこか。

A 利便性の向上を図るため、バスターミナルの整備を検討するもので、バス乗降所、待合所等の整備に係る設計条件の整理、地盤調査、基本設計等を行うものです。整備箇所は、設計条件を整理しながら決定しますが、佐原駅北口付近を基本とし、大きく移動することはないと考えます。

○議案第1号
平成29年度香取市一般会計補正予算(第1号)

全会一致の議案等審査結果

議案名の詳細はホームページをご覧ください。

※議案名は要約して掲載しています。

議案第2号 工事請負契約の締結
発議案第1号 再生土埋立て事業に対する規制強化に関する意見書

全会一致で可決

請願第12号 香取市残土条例を改正し、再生土による埋め立て事業の届け出・許可制を求める請願

全会一致で採択

議案第3号～6号 専決処分の承認(条例改正)

全会一致で承認

陳情第13号 忠霊殿の維持、管理に関する陳情

全会一致で不採択

PICKUP ② 介護保険料を引き続き減額します

低所得者の負担軽減のため、平成29年度についても介護保険料の減額賦課を延長するものです。

Q 今後の見通しは。

A 介護保険料は、介護保険の給付にも関わっていること、国から基準も示されていないことから、平成30年度から3力年の第7期介護保険事業計画策定の段階で決定されていきます。計画は、アンケート調査等の結果を盛り込むなど、平成29年度中に策定予定のため、未定です。

○議案第5号
専決処分の承認 香取市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について



最新医療機器を使用した人間ドックで地域の予防医療を担う健康管理センター（県立佐原病院）

一般質問

ココがききたいQ&A

6月定例会では、6月14日（水）・15日（木）に、10人の議員が一般質問を行いました。ここでは、一般質問の内容を要約して掲載しています。

買い物弱者の実態把握で支援策を

Q 市の買い物弱者をどのように捉えているか。

A 核家族化及び少子高齢化の進展、公共交通機関の廃止、身近な小売店舗の減少、商店街の衰退等により、買い物弱者の数は今後さらに増加することも予想されます。このことから、買い物弱者支援は、市においても重要課題と認識しています。

Q 買い物弱者の実態を把握し、支援策に反映していただきたいが、見解は。

A 高齢者だけの問題とせず、全ての市民が当事者意識を持つて取り組むべき問題と捉え、地域住民、民間企業、行政が柔軟な視点を持つて、相互に連携しながら、買い物弱者の支援に向けて環境整備を進めていくことが重要と考えます。

Q 「産後うつ」とは。市では「産後うつ」をどのように捉えているか。

A 「産後うつ」は、産後のホルモンバランスの変動から、精神的にも不安定になりやすく、出産による身体的な疲労や慣れ

ない育児への負担、不安感等から発症するといわれています。産後ケアは、重要な事業と認識しています。

Q 出産後、孤立しがちな母親の心身を支えるのが、「産後ケア事業」である。市の取り組み状況はどうなっているか。

A 市では「産後ケア事業」としては実施していませんが、必要に応じて助産師や保健師が生後4カ月までの家庭を訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」時に、子どもの発育状況と併せて、母親の状況も確認し、各種相談や健診、育児支援のための教室等が必要な支援を行っています。

Q 家庭等で余った食品を「フードバンク」を通じて、施設や個人へ寄付する「フードドライブ」活動が注目を集めている。この取り組みをどのように捉えているか。

A 廃棄される食品が有効活用され、食品ロスの削減や企業・個人の社会貢献、食品確保が困難な人に役立つ、新しい食のリサイクルとして、この活動は有意義であ

将来にわたって医師確保の手立てを具体的に

Q 県立佐原病院についての要望書に対する県の回答は一步前進と受け止めていいのか。

A そのように考えています。



さかもと ようこ
坂本 洋子 議員

Q 医師確保を重点に保健医療計画へ佐原病院の存続と充実を明記させるため、オール香取の先頭に立って欲しい。

A 県は、佐原病院の耐震改修に伴う病院運営、影響等調査業務を公告するなど、耐震計画の策定に取り組まれています。今後、この調査結果を受けて、耐震化の計画が立てられると伺っています。県への要望書に対する回答も、庁内で十分に精査検討を図るとともに、市民が安心して医療サービスを受けられるよう県や地域医療関係者と協議していきたいと考えています。

Q 国は就学援助の入学準備金について、「補助単価の倍化」支給時期は入学前」と改正した。市の取り組みは。

A 国の制度改正を踏まえ、平成30年4月に市内の小・中学校への入学予定者から、入学前に新入学児童・生徒学用品費を支給します。補助単価は、平成29年度入学者から引き上げ後の額で支給しています。



たしろ かずお
田代 一男 議員



子どもの健診と併せママのさまざまな相談に保健師が応じます（保健センター）

ると捉えています。

Q 市として、家庭等で余った食品を持ち込める「拠点」を設けて、「フードドライブ」の活動を推進していただきたいと思うが、市の取り組み状況はどうなっているか。

A 県内では「フードバンクちば」が実施しています。市民に対しては、「フードバンクちば」が作成しているポスターの掲示等で周知しています。市内拠点の設置については、今後検討していきます。

Q 国民健康保険の広域化にあたり、県は標準保険料率の試算結果を公表すべき。なぜ公表しないのか。

A 納付金及び標準保険料率の公表は、国の取り扱いが未確定のため、制約された条件での試算となっています。現時点での試算では、国からの公費拡充分、特別調整交付金も見込まれていないため、平成30年度の保険料負担を直接的に示すものではないことから、今後は大きな変動が予想され、現時点において県では公表できないということです。

Q 高すぎる国民健康保険税の引き下げのために資産割、均等割の見直しを。財源は子育て支援の観点から一般会計からの繰り入れで。

A 課税の公平性という観点からも、慎重な取り扱いが求められています。また、平成30年度から国民健康保険の広域化という大きな制度改革があるため、当面は考えていません。

Q 住民税特別徴収通知書の個人番号のうち8桁がアスタリスクで伏せられたことを評価する。今年だけでなく来年も。

A 県内で全桁表示している市は22団体、一部表示または、全桁未表示としているのは15団体です。今後は、情報漏えい等が危惧されない安全な方策を探り、全桁表示にしたいと考えています。

**合併から12年を迎えた
市政運営の今後は**

Q 市政運営の今後について。

A 市発展の礎となる重要な事業を複数、同時並行で進めています。合併特例債の優遇期間を踏まえ、今後、数年間は財政メリットを生かして地域課題を解決する好機であると同時に、将来の市を左右する極めて重要な時期であると認識しています。

Q 香取市史の編さんをどのように考えているか。

A 市としての歴史をどのように再構築するのか、その方向性を見極めた上で実施すべきと考えます。

Q 歴史道徳教育における郷土の偉人を取り上げた取り組み状況は。

A 道徳教育に限らず学校では社会科や国語科、総合的な学習の時間を利用して取り組んでいます。

Q 伊能忠敬翁没後200年祭事業はどのように取り組まれているか。



いのう としお
伊能 敏雄議員

A 平成29年3月に伊能忠敬翁没後200年記念事業実行委員会を立ち上げ、記念式典の開催と銅像建立事業を計画しています。その他記念事業として、友好都市等への伊能大図パネル全国派遣事業、伊能忠敬記念館での企画展、国宝図録の作成、伊能大図デジタルデータ検索システムの公開を計画しています。



樹木に囲まれている伊能忠敬翁銅像(佐原公園)



いとう とものり
伊藤 友則議員

握に努めています。認知した場合は、学校いじめ防止基本方針に基づいて校内で組織的な対応を行っています。

Q 平成28年度のいじめ発生件数といじめの内容、その後の対応と状況は。

A 平成28年度のいじめ認知件数は合計23件で、内容は、ひやかし・からかい等が多く、また、軽くぶつけられたり、叩かれたりすることや、SNS上の誹謗中傷などです。このうち22件は解消しています。残り1件は解消に向け鋭意取り組んでいます。また、平成29年度からは、解消していると報告のあった事案も、学校に対して日常的な観察を継続し、3カ月後にその状況を報告するように指示しています。

Q 柏市教育委員会では、いじめを匿名で通報できるスマートフォン専用アプリの提供を市立中学校で開始した。匿名で報告・相談でき、導入の背景には、いじめを周りで見ても教員や親に相談しないケースがある。いじめを受けた生徒に対する市教

Q 忠敬翁銅像を仰ぎ見られるよう、佐原公園の再整備を図れないか。

A 顕彰事業の一環として佐原公園を整備していく計画はありませんが、銅像自体が道路側から見えにくい状況は認識しています。銅像がより見やすくなるように、通常の公園管理計画の中で樹木の伐採、また、銅像の管理等必要な対策を講じたいと考えています。

Q イノシシ出現地区と捕獲実態は。

A 平成28年度は、主に東大戸地区で多数の目撃情報が寄せられていました。捕獲実績は、平成28年度44頭です。捕獲場所は、片野地区方面20頭、鳥羽地区方面10頭、山之辺地区方面9頭、大戸地区方面2頭、大倉、関、上小川地区方面それぞれ1頭です。

Q 捕獲方法と資格者養成について、これらに対する補助制度等は。

A 市では、わなについては、箱わな・くりわな、銃器については、市民の安全性を考慮し、止めさしに限って許可を取得しています。市では、県の補助制度を利用し、新規にわな免許を取得する会員に対して、狩猟免許講習会受講料及び狩猟免許試験申請費用の2分の1を補助しています。

育委員会の調査でも、誰にも相談していないと回答した人が5%いた。アプリはこのような生徒に対するセーフティネットの役割も果たすと考え、この施策についての見解は。

A 柏市教育委員会に問い合わせたところ、最近の児童・生徒は口頭でのコミュニケーションを苦手とする者が多く、日常から使い慣れているスマートフォンアプリを利用した文字による相談が有効と考えますとのことでした。市としても、これらを参考に研究していきたいと考えています。

Q 市内小・中学生のスマートフォン所有率は。

A 平成28年度全国学力学習調査結果によるスマートフォンや携帯電話の所有率は、市内小学6年生で54.3%、中学3年生で80.2%です。原則として学校への携帯電話等の持ち込みは禁止しています。家庭からの事前連絡なしに児童・生徒が携帯電話等を持参した場合は、一時預かりし、保護者に持ち込み禁止の協力を依頼した上で返却しています。



市教育委員会では学校生活の悩みを相談できる電話相談窓口を設置

いじめ対策について

Q 市教育委員会のいじめ予防線・指導や実際のいじめ把握の手法並びに対応への流れは。

A 電話相談窓口の設置、研修会の実施、リーフレットの活用で、いじめの予防、早期発見に取り組んでいます。学校では、日常の観察や生活ノート等に記載された内容に対し、丁寧に対応するとともに、定期的にアンケート調査や相談を実施し、いじめの把

環境悪化が懸念される 再生土処分場の規制を

Q かつて残土処分場として埋め立てられていた場所が、太陽光発電・資材置き場の名目で、再生土による埋め立て事業として行われている。自然環境・地下水への影響が懸念される。実態はどうか。

A 市内の再生土等による埋め立て箇所は22カ所、このうち4カ所が引き続き稼働しています。これに対する取り組みとして、県では平成28年9月、市では、平成28年11月に、再生土等の埋め立て等に係る行政指導指針を定め、3,000㎡以上は県、500㎡以上3,000㎡未満は市が、それぞれの役割分担により指導指針に基づきながら、事業者・土地所有者に対して、土壌の汚染、土砂の崩落等の災害が発生しないよう指導するとともに、必要に応じて県と連携を図りながら搬入土の土質分析、中間処理施設への立ち入り検査の実施など、監視の強化に努めています。

Q 残土条例の改正も視野に、面積要件・周辺同意条件も見直し、再生土の規制を急ぐべきではないか。



う い しょういち
宇井 正一議員

A 現在、県の条例改正に向けて取り組みため、香取海浜地域の4市3町で協議を進めています。県議会でも知事から、指針による限界について新たな規制のあり方を検討していくという答弁もありましたので、これを踏まえて、4市3町で検討していきます。条例改正も含めて、課題を検討し、改正の必要性、改正する場合は、どのような規制が必要なのか、効果的な方法等を決定していきたいと思っています。

Q 日下部住宅の設備や周辺環境が著しく悪化している。入居者の要望を掴んで、対応することが必要ではないか。今後の日下部住宅の方向性は。

A 建物に不具合が生じた場合は、適宜、修繕を施しています。また、近隣の向堆住宅では、いまだに募集戸数に満たない状況が続いていますので、地域的な状況等の調査を含め、需要等を十分に検討し、計画的に進める必要があると考えています。



た か ぎ ひろし
高木 寛議員

A 県が指定するジュニア世代の特別強化指定選手に対し、大会や強化合宿、遠征等の経費を補助しています。市内には、カヌー競技と馬術競技に有力選手がいます。

Q 教育長を文部科学省から招へいする意義・効果は。

A 新教育委員会制度が市に定着し、着実に機能させていく上で、制度に精通した人材を迎えて、関係機関と連携しながら情報提供や提言等をしていただくことは、大きな意義を持ちます。また、教育行政全般のさまざまな課題に、より多角的見地から解決策を導きだせると思われれます。

Q 市は各学校の統合等の大きな教育問題を抱えている。粟井教育長の教育全般への取り組みは。

A 教育行政全般にわたる多種多様な課題や問題には、これまでの教育行政の経験を生かして、迅速かつ柔軟に対応していきたいと思っています。

Q イノシシの被害や目撃情報が顕著になっている。被害状況と今後の対応策は。

A 平成28年度の被害状況について、香取農業共済組合調べでは、被害面積20.5ha、被害量161kg、被害金額1万6,000円です。平成27年度と比べ被害金額は3万1,000円の減でした。平成28年度は、44頭捕獲しています。今後は、猟友会等の関係団体と連携し防止対策を実施していきます。

Q 投票率の向上は、市民の政治参加を促すことにある。選挙制度をどう考えているのか。投票率の向上を図るための方針は。

A 投票率の向上を図ることは重要な課題と考えています。投票所への移動支援等は、県内では導入事例はありませんが、選挙の公平・公正を確保することを前提として、近隣自治体の取り組み状況を参考にするなど、慎重に研究していきたいと考えています。



捕獲されたイノシシ（鳥羽地区）

Q 小見川駅前整備事業の全体計画と進捗状況は。

A 駅前広場としてバス・タクシーの乗降場やタクシープール等を整備します。駅西側に駐輪場、東側に駐車場を整備し、併せて駅前交差点までの歩道を整備します。事業費は約6億5,000万円を予定しています。進捗状況は、用地交渉に期間を要し、全体計画に若干の遅れが生じたため、施工計画自体も見直し、早期完成を目指しています。

Q 今後の整備予定は。

A 平成29年度は、引き続き駅前広場の全体を順次整備し、平成30年度は、残りの駅前交差点までの県道部分の歩道を整備する計画です。

Q 駅南側（小見川支所側）の整備予定は。

A 駅前広場等整備事業の完成に併せ、小見川駅周辺地区都市再生整備計画の評価をする予定です。この中で、検討していきたいと考えています。

Q 小見川駅舎の整備予定は。

A JR東日本の考えによりますので、市としての計画はありません。



早期完成が望まれる小見川駅前広場



保育認定の利用希望者が多いおみがわこども園

**税金をより有効に
使うための入札制度改革を**

Q 最近5年間の平均落札率は。

A 平成24年度は土木一式工事94.4%・建築一式工事96.5%、平成25年度は土木一式工事90.9%・建築一式工事95.5%、平成26年度は土木一式工事93.3%・建築一式工事98.8%、平成27年度は土木一式工事96.3%・建築一式工事98.3%、平成28年度は土木一式工事96.6%・建築一式工事98.0%でした。

Q 印西市では、予定価格も最低制限価格も事後公表にして、落札率を低く抑えている。市ではどのように考えているか。

A 予定価格の事前公表は、不正行為の防止・失格がなくなり競争性が増すことが期待できます。最低制限価格は、最低制限価格の近傍価格への入札が誘導され、入札価格が同額の入札者のくじ引きによる落札が増加する結果、適切な積算を行わずに入札を行った事業者が落札するなど、真の技術力、競争力による競争を損ねる弊害が生じることが指摘されたことから事後公表に変更しています。

**引きこもり対策は
定期訪問で孤立の改善を**

Q 市内小・中学校の引きこもり・不登校の状況と対策は。

A 平成28年度の不登校の小学生は12人、中学生は29人です。引きこもりは中学生で1人です。これらの割合は、全国及び県と比較しても大きく下回っている状況です。対策としては、学校訪問、研修会の開催、啓発用リーフレットの配付、ふれあいステーションの運営、ほっとダイヤルの開設等を行っています。また、関係機関と連携し、対策に取り組んでいます。



このの せつこ
河野 節子 議員

Q 最低制限価格を90%としているのは高すぎないか。

A 単純に90%というような出し方ではありません。

Q 非公表になっている最低制限価格は、最終的に誰が決めるのか。

A 指名審査会等を開いて決定します。



市内の公共工事風景



おの かつまさ
小野 勝正 議員

Q 引きこもりサポーターの養成と活用への取り組みは。

A 引きこもりサポーターは、県引きこもり地域支援センターが養成し、地域派遣事業を行っています。市でも、情報を広報誌等で広く周知していきたいと考えています。

Q 引きこもりは、不登校をきっかけになることが多く、18歳以下でなった人が全体の半数近くいるという調査もある。調査の漏れをなくすための取り組みは。

A 福祉部門、教育部門が連携して、不登校への対応、家庭への支援をしています。また、卒業後も引き続き対応をしていきたいと考えています。

Q 「子ども・子育て支援新制度」の取り組み状況は。

A 香取市子ども・子育て支援事業計画を策定し、各年齢や認定区分における乳幼児の教育、保育の量を見込み、また、状況に応じて量の見直しを行いながら、施設整備や子育て支援事業を実施していきます。

Q 競争性を高めるには低入札価格調査制度を拡大してもよいのではないか。

A 市では、総合評価方式による一般競争入札において、低入札価格調査制度を導入しています。他の自治体では、通常の一般競争入札でも導入している例もありますので、他の自治体の状況を調査・研究していきます。

Q 入札件数全体に対する指名競争入札の割合が高く、一般競争入札が平成24年度では4%、その後6~7%で推移している。地方自治法でも一般競争入札を原則としており、他市では3千万未満でも一般競争入札を行っている。単に市内業者の擁護ではなく、競争性と切磋琢磨による市内業者の育成も必要ではないか。

A 市の一般競争入札の割合は高くはありません。一般競争入札が基本ですが、公平、一律にその技術力をアップしていただくという点では、指名競争入札というのは、有効な方法であると考えます。

Q おみがわこども園の開園後の状況を含め、未就学児の教育・保育の実態と今後の対策は。

A 市では、平成27年度からの3年間で、就学前児童数は7%減少し、教育・保育施設等を利用する児童数は、4.5%増加しています。おみがわこども園は、予想を超えて、3歳未満の保育認定の利用希望者が多く、特に1歳児は、利用調整を行い、他の保育施設を利用していただいている状況です。一方、教育認定の児童は、3歳から5歳までの合計168人に対して、63人と全体の38%という状況です。今後も子育て支援策や施設整備の検討を進めていきたいと考えています。

Q 子育て世代は、スマートフォンのアプリでいろいろな情報を活用している。「せたがや子育て応援アプリ」は、子育てに必要な情報を的確に提供し、子育てに安心感を与えている。この取り組みについて、どう思うか。

A 最先端の自治体の様にはいきませんが、子育て世帯のニーズを検証しながら、よりよい子育て支援につながるサービスの向上、またホームページの充実に努めていきます。

市民を守る消防団・ 356号バイパス開通を

Q 大規模な水害が発生した場合、多くを消防が担う事になる。水害に対する市の取り組みは。

A 香取市水防計画を策定し、国、県、消防、その他の機関との連携を図りながら、河川の洪水による水害を警戒、防御し、被害の最小化に取り組んでいます。また、潮来市、稲敷市、神栖市、香取市の4市で、「大



6月24日(土)に開催された香取支部ポンプ操法大会
ポンプ自動車の部で優秀賞に輝いた佐原第1支団第1分団第2部(上宿)

規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し、避難体制の構築にも取り組んでいます。

Q 水害に対応するには多くの人員を必要とするが、水防における消防団の役割は。

A 消防団は、水防活動の中心となり、人命と財産を水害から守る重要な役割を担っています。常日頃から堤防や護岸の巡視、点検を実施し、河川が増水したときには、速やかに河川管理者に連絡するほか、危険箇所への土のう積み等の水防活動を行っていただいています。

Q 消防団員は昼夜を問わず災害に当たっている。しかし、小型動力ポンプのみで、消防車が無くりヤカーの様なものに積載して出動している団がある。未配置の消防団へ車両配備をお願いしたい。

A 香取広域市町村圏事務組合とともに処遇改善による消防団の充実・強化に配慮していきたいと考えています。



くぼき せいじ
久保木 清司 議員

Q 国道356号バイパス香取・銚子間の全線開通は、市にどのようなメリットがあるのか。

A 第1に、混雑の緩和と歩行者の安全確保が図れます。第2に、圏央道、東関道とアクセスし、北総地域の新鮮な野菜等を首都圏等に供給できる経済効果があります。第3に、観光施設等への集客力に寄与することがメリットとして考えられます。

Q 国や県の動きと進捗状況は。平成29年度の予算計上や工事着手予定はあるか。

A 佐原消防署交差点から1.9kmの4車線化に向けて、用地取得に努めているとのこと。未事業化区間の篠原地先から小見川大橋までの約10kmは、現地調査を進めていて、平成29年度予算は6月補正予算で対応するとのこと。

Q 連絡協議会の設置や要望書の提出等目標を達成させる活動は。市はどのような対応をしたか。

A 一般国道356号整備促進期成同盟を設立し、国や県へ必要な財源確保のため、要望活動を毎年実施しています。

高齢者の通院・買い物等の 交通手段の充実を

Q 路線バスの廃止で、循環バスがスタートした。65歳以上には高齢者通院タクシー券が市全域で支給、また、自宅前から目的地までドアツードアの便利な乗り合いタクシーは。



くぼき せいじ
久保木 宗一 議員

タクシーが小見川地区で実施されている。高齢者・独居世帯が増加し、買い物や通院の足の確保の充実が求められている。高齢者の交通手段として、それぞれのメリット・デメリットは。

A 循環バスは、定額で乗車でき、路線バス等の運行のない交通不便地域に住む高齢者等、交通弱者にとって地域と駅や病院等の拠点を結ぶ生活路線の足として欠かせない交通手段です。しかし、運行時間やルートが定められている点等、利用者の多様なニーズには対応できない部分もあります。乗り合いタクシーは、循環バスでは対応困難な小見川中央、東、南地区で運行している事前登録制の交通手段です。定額の運賃で自宅及び目的地へ直結できる利点があります。しかし、利用区域が限定されることや事前の予約が必要であること、狭い車内ではかの乗客と同乗する気遣い等が生じることもあります。高齢者通院タクシーは、高齢者が医療機関へ通院するためのタクシー料金の一部を助成するものです。利用券は月2枚で、1枚500円の助成です。高齢者通院タク

シーは、時と場所を選ばずに、自宅から目的地まで利用できる高齢者に利用しやすい制度です。しかし、地域により乗車距離が異なるため、自己負担額に差が出ます。

Q 高齢者の交通手段について、市は今後の政策をどう考えるのか。

A 香取地域公共交通協議会で、方針が決定されます。循環バスが万能ではないため、乗り合いタクシーなどの制度を徐々に取り入れています。地域に合った交通は何かを研究し、この協議会で、協議して方針を決定していきたいと考えています。

Q 循環バスは、自宅が停留所から遠い高齢者には、買い物袋を提げて利用することが厳しい。乗り合いタクシーを運行区域以外にも拡大し、循環・路線バスの利用が厳しい高齢者には買い物も認める高齢者タクシー券の支給を実施してはどうか。

A 今のところ考えてはいませんが、予算的なものも大変重要ですので、更なる検討は続けていきたいと考えています。